

- 2面…第9回人形劇フェスタin西東京、おやこdeさんぽ、市民ライターからの記事ほか
- 3面…下野谷遺跡講座、科学の本とあそび講座、親子防災講座、芝久保公民館夜間利用ほか
- 4面…田無公民館まつり報告、公運審コラム、まちがいさがしほか

柳沢公民館 柳沢1-15-1 ☎042-464-8211 kouminkan@city.nishitokyo.lg.jp
 田無公民館 南町5-6-11 ☎042-461-1170 tana-kou@city.nishitokyo.lg.jp
 芝久保公民館 芝久保町5-4-48 ☎042-461-9825 shiba-kou@city.nishitokyo.lg.jp

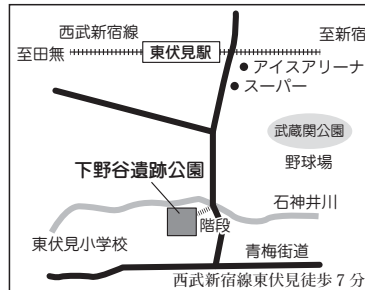
谷戸公民館 谷戸町1-17-2 ☎042-421-3855 yato-kou@city.nishitokyo.lg.jp
 ひばりが丘公民館 ひばりが丘2-3-4 ☎042-424-3011 hibari-kou@city.nishitokyo.lg.jp
 保谷駅前公民館 東町3-14-30 ☎042-421-1125 ekimae-kou@city.nishitokyo.lg.jp

夏休み子ども特集

ずーっと昔、西東京市に縄文人がいた!

下野谷遺跡クイズ

西東京市には5千～4千年前の縄文時代の遺跡があります。平成19年には東伏見6丁目到下野谷遺跡公園が開園しました。石神井川流域、高い丘の上に生活していた縄文時代の人々は、どんな暮らしをしていたのでしょうか。クイズを解きながらその生活をのぞいてみましょう!
 (クイズのこたえは欄外右にあります)



クイズ1

これは下野谷遺跡から出土した土器です。縄文人はこれをどのように使っていたのでしょうか。



- ① 日よけのため、頭にかぶった
- ② 植木鉢に使った
- ③ 鍋として使った



しーた © S.Takishima2007

下野谷遺跡からは100万点近い土器が出土しています。煮炊きをする深鉢や、食べ物を盛った浅鉢などがほとんどですが、中にはお酒を造ったと思われる土器も見られます。縄文人も、寒い日には家族で鍋を囲み、大人はお酒を飲んだり、楽しい食事の時間を過ごしたのかもしれない。

クイズ2

縄文の人々の主食はクリやドングリなどの木の实でした。下野谷遺跡の人々が一番多く食べていたのは次のうちどれでしょう。



- ① ドングリ
- ② クリ
- ③ クルミ

下野谷遺跡のムラのまわりには、冬になると葉のおちるクリやドングリの木がはえていました。ドングリはアクが強いので、水につけて土器でよく煮て、アク抜きをしてから食べました。木の実は粉にして、シカやイノシシの肉に混ぜてハンバーグにしたり、クッキーのように焼いて食べたりもしました。クリは特に好んで食べられたようです。



ドングリのあぶり

クイズ3

縄文の人々は狩りをしたり、魚を捕ったりして生活していました。当時、石神井川流域で捕れなかった生き物はどれでしょう。

- ① マンモス
- ② イノシシ
- ③ 貝



うり © S.Takishima2007

氷河期が終わり、マンモスなどの大型の動物はいなくなりました。暖かくなった縄文時代では森が広がり、そこにはシカやイノシシが住んでいました。一方海は今より内陸まで広がっていました。石神井川下流域からは、貝塚が見つかっており、カキのからや、魚の骨などが出土しています。川を下り、海のムラの人々とのおつきあひもあったのかもしれない。

下野谷遺跡のキャラクター紹介

皆さんに親しみをもってもらうため、下野谷遺跡には「しーた」と「のーや」というキャラクターがいます。二人は同じ家に暮らす仲良しです。小さいときに両親が亡くなったしーたを、のーやのお父さん、お母さんが引き取って育てました。豊かな自然の中、お互いを思いやる当時のムラの人々の姿が見えてきます。



しーた



のーや



りょう © S.Takishima2007

もっと知りたい! 下野谷遺跡!!

★郷土資料室(西原町4-5-6西原総合教育施設内☎042-467-1183)では、夏休みの期間中、夏休みの自由研究のお手伝いをしています。下野谷遺跡をはじめ、西東京市の歴史について調べることができます。

★柳沢公民館では、7月12日(土)から親子講座「知ってる? 下野谷遺跡のすごいところ」を実施します。縄文土器作りも体験できます。詳しくは3面を見てね!

監修: 西東京市教育委員会社会教育課文化財保護専門員 亀田直美

「クイズのこたえ」クイズ1→③ クイズ2→② クイズ3→①

「皆様ようこそおいでくださいました」と、山高帽に燕尾服の団長の口上で始まる彼らのライブは、架空の魔法王国に住む魔法使いと魔法にかけられた人間と猫が演奏するというストーリー仕立て。寸劇もあり、観客をおとぎ話の世界に誘います。現実世界では「ワトソン」さんは「就活」真ただ中、プロ



WEB サイト
http://www.music-scene.jp/nstindanceton2014/

サークル訪問

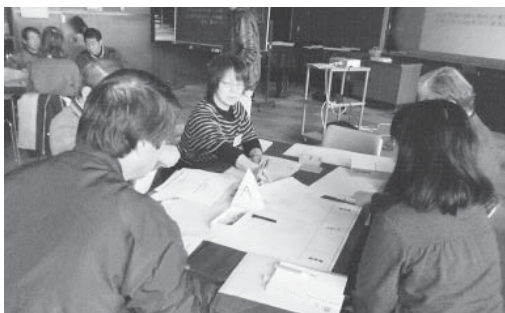
5人組音楽隊

「ンステインダンストン」

〜新ジャンルでJ-POPに革命を〜

保谷駅前公民館で活動する「ンステインダンストン」は、男女ボーカル、ギター、ピアノ連弾の大学生バンドです。クラシックから民族音楽まで、ジャンルを超えたオリジナル曲でライブ活動を展開しています。作詞はギターの「ワトソン」さん。団長の「セニョリタ・カンスオレンジ」さんがパソコンで作曲、編曲し、「ティラミス」さんが総演出を考えます。

「皆様ようこそおいでくださいました」と、山高帽に燕尾服の団長の口上で始まる彼らのライブは、架空の魔法王国に住む魔法使いと魔法にかけられた人間と猫が演奏するというストーリー仕立て。寸劇もあり、観客をおとぎ話の世界に誘います。現実世界では「ワトソン」さんは「就活」真ただ中、プロ



担当者からの講座報告

避難所運営ゲーム(HUG)を体験し、災害に備えましょう

地域防災講座 (3月12日 田無公民館にて実施)

このゲームは、いざというときのために避難施設の運営を模擬体験するものです。グループに分かれ、施設の平面図やカードを使い、災害直後、次々に起こるであろう事態の対処方法について考えました。

参加者からは、地域の自治会やPTA、家族でもやってみようという声がかれました。「地域で体験することで防災意識を高め、住民同士のつながりができれば」「事前の準備や訓練が役に立つことがわかった」などの感想がありました。